

## 自分の好き・得意を生かせる！

地域貢献活動という硬いイメージがあるかもしれませんが、自分が得意なことや好きなことを生かす方法があります。サッカーが好きであれば地域の公園で子どもたちにサッカー教室を開いてみましょう！ピアノを弾くのが好きであれば地域の老人ホームでピアノ発表会を開催してみましょう！好きなことと地域がつながる活動であれば、どんな活動でも構いません。そして何より好きなことだからこそ楽しく活動を続けられます。

## 自分の将来を考える 出会いがある！

いつも何気なく目にして大人も、実は地域で活躍するカッコいい大人かもしれません。学校生活だけでは、熱い「想い」をもって活動している大人に出会う機会はなかなかないと思います。そして、一緒にプログラムに参加した高校生の参加者とも出会えます。このプログラムで出会う同じ目標をもつ高校生は、大切な仲間となるはず。このプログラムに参加すれば、たくさんの出会いがあります。そんな出会いこそがあなたの将来なりたいた姿を明確にしてくれるかもしれません。

地域のために頑張っている人達がたくさんいるということを知って自分も何か手伝いたいなど自然と意欲がどんどん増えていきました。今回このような体験のおかげで何か地域の活性化のために地域の人達が動いているということがどれだけすごいのかということが知れて良かったです。

筋道をたてて物事を考えることの重要性や、出会ったばかりの仲間と話し合うことを通して、コミュニケーション能力の必要性を、身をもって感じました。



## 自分のポートフォリオを 手に入れよう！

地域探究プログラムに参加すると実践活動ののち、実践活動報告書を作成します。これはあなたのそれまでの活動とあなたの言葉、この2つの要素をまとめた集大成であり、あなただけのポートフォリオになります。

この実践活動報告書は、自分のそれまでの取り組んだ活動を証明することに役立ち、これからの進路選択における大きな武器となります。総合型選抜や就職の面接等に活用することもできます。

## 面接などで役に立つ コミュニケーション能力 身につく！

このプログラムに参加すると大勢の前であなたの想いを発表する場所があります。発表前の情報を整理する作業で、伝えたいことをわかりやすく表現する力が鍛えられます。また、あなたの発表を聞く関係者との意見交換で、相手の意見に耳を傾け、その言葉の意図や本心を正しく汲み取る力を身に付けることができます。この2つの力は、面接試験等で自分をアピールするときにと役に立つはず。必ずです。

## 参加者の声

私は、これからの進路につながると思って合宿に参加しました。地元のことを知って、あらゆる問題を解決するということは難しいことがほとんどですが、たくさんを学んで自分がやってみたいことを考えることができました。とても充実していました。

# 高校生の力が 地域を変える



# 全国高校生体験活動顕彰制度 地域探究プログラム オリエンテーション合宿

令和4年7月16日(土)～17日(日)、7月31日(日)

会場：国立妙高青少年自然の家及び妙高市内・長野県信濃町内

個人でも、友達と一緒にでも参加できる学びの場！詳しくは中身をチェック！⇒

# 探究×体験

地域探究プログラムは、高校生が地域の課題に対して実践活動を行い、それを自然の家職員がサポートするという事業です。「自分の力で地域を変えていく」。学校を飛び出して実体験を通じて学ぶことを重視しています。地域と自分の未来をつなげる活動に挑戦してみませんか？



募集定員：12名（申込多数の場合は抽選となります）  
 参加費：3000円程度+交通費  
 申込方法：フォームへ必要情報を入力してください →  
 募集期間：令和4年5月30日（月）～6月24日（金）



募集期間終了後、参加者へ詳細について連絡をします

## オリエンテーション合宿では、こんなことをします！

### 1日目

講師 NPO法人リブランド代表 小西 隆文さん  
 信濃町で遊び場を作っているプロスノーボーダーの小西さんの思いを聞き、実際に現場で体験をします！スケボー体験、マウンテンバイク体験を通じて様々な学びを得ます。



### 3日目

参加者同士で交流しながら、実践活動の計画を練ります。地域に貢献する活動をみんなで考えます。

### 2日目

講師 妙高市地域のこし協力隊 塚田 歓太郎さん  
 昨年妙高市の地域のこし協力隊に着任された塚田さんのお仕事に密着します！ぶどう栽培から地域活性化を考えている塚田さんのお手伝いや、その地域の魅力に触れます！



## 事業の流れ

オリエンテーション合宿では、自然の家で宿泊しながら探究のプロセスについて学びます。参加者同士が交流を深めながら実践活動のヒントを見つけることができます。新たなヒトやモノとのつながりが生まれる機会でもあります。



報告書を作成・提出することで、自分だけのポートフォリオ（個人評価ツール）となります。進学や就職時にボランティア活動の記録として説明する際に大いに役立ちます。入力は専用WEBに入力する形で、スマホでも可能です。



7月  
オリエンテーション合宿

8～10月  
実践活動

11月  
報告書作成・提出

1・2月  
地方ステージ・全国ステージ

地域における課題に対して仮説を立て、それを実践することで検証します。自分の好きや得意を生かすことで、地域に貢献できることがあります。複数人数でグループを作り、役割分担をして実践することも可能です。



地方ステージは実践活動を評価する顕彰制度です。審査員に向けてプレゼンテーションを行い、普及性や獨創性などの観点で評価されます。優秀賞を獲得できれば、全国ステージへ。全国ステージでは最も評価された実践に文部科学大臣賞が授与されます。



## 全国高校生体験活動顕彰制度「地域探究プログラム」 オリエンテーション合宿 開催要項

### 1 趣 旨

「地域探究プログラム」は高校生の体験を通じた成長を目指し、改訂された学習指導要領のキーワードである「探究」の手法を用いて学習を深める制度である。宿泊を伴うオリエンテーション合宿を通して、ものごとを探究する姿勢、主体的に取り組む態度、課題に向き合う力などを育成する。

2 主 催 独立行政法人国立青少年教育振興機構 国立妙高青少年自然の家

3 後 援 新潟県教育委員会

4 期 日 令和4年7月16日（土）～17日（日）、7月31日（日）

5 会 場 国立妙高青少年自然の家及び信濃町内、妙高市内

6 対 象 日本在住の高校生及びそれに相応する学籍又は年齢にある方

7 募集人数 12名

8 講 師 小西 隆文 氏（NPO法人リブランド代表）  
塚田 歓太郎 氏（妙高市地域のこし協力隊）  
国立妙高青少年自然の家 職員

9 持 ち 物 活動しやすい服装 着替え 筆記用具 雨具（レインウエア）  
保険証（コピー可） 洗面用具（浴室にはシャンプー・ボディソープ有）  
体温計 コップ（歯磨き時やうがい用） マスク  
帽子 飲み物（自動販売機で購入可） 常備薬

10 参加費 3,000円程度（食費、シーツ洗濯料、保険料、ファイル代など）  
※妙高青少年自然の家までの交通費は参加者が負担。  
※オリエンテーション合宿後の実践活動に係る経費は参加者が負担。

11 申込方法 5月30日（月）～6月24日（金）の期間で申込を受け付ける。  
Formに必要事項を入力する。※応募者多数の際は抽選を行う。  
FormURL <https://forms.office.com/r/vTU0sq2bfa>

QRコード



## 12 オリエンテーション合宿 日程案

【国立妙高青少年自然の家 1泊2日+日帰り（21単位時間）】 ※1単位時間=50分

時間	7月16日（土）	7月17日（日）	7月31日（日）
9:00～9:50	受付		受付
10:00～10:50	ガイダンス （会場：リブランド）	フィールドワーク② 「地域のこし協力隊に密着」 塚田 歓太郎氏 （会場：妙高市内）	講義・演習③-1 「実践活動の計画」
11:00～11:50	講話 「地域づくりの実践」 小西 隆文 氏 （会場：リブランド）		
12:00～13:00	<昼 食>		
13:00～13:50	フィールドワーク① 「地域の魅力を発見」 小西 隆文 氏 （会場：リブランド）	講義・演習② 「仮説を立てよう！」	講義・演習③-2 「実践活動の計画」
14:00～14:50			発表② （個人発表）
15:00～15:50			ガイダンス （閉会式含む）
16:00～16:50	仲間づくり活動 「妙高アドベンチャー」	発表① （グループ発表）	
17:00～17:50			
18:00～19:00	<夕 食>		
19:00～19:50	講義・演習① 「フィールドワークまとめ」		
20:00～20:50			

<内容詳細>

◆ガイダンス（開会式・アイスブレイク含む）（7月16日10:00～10:50 1単位時間）

⇒全国高校生体験活動顕彰制度の説明を行うとともに、オリエンテーション合宿のスケジュールを確認する。

【講師】妙高青少年自然の家職員

◆講話「地域づくりの実践」（7月16日11:00～11:50 1単位時間）

⇒地域づくりを実践している講師からの講話により、地域貢献活動を具体的に理解する。

【講師】小西 隆文さん

◆フィールドワーク①（7月16日13:00～15:50 3単位時間）

⇒フィールドワークを通して、小西さんの思いや地域の特色など、様々な取組やその魅力を発見する。

【講師】小西 隆文さん

◆仲間づくり活動「妙高アドベンチャー」（7月16日16:00～17:50 2単位時間）

⇒アイスブレイクや課題解決活動を通じて、参加者同士の親睦を深める。

【講師】妙高青少年自然の家職員

◆講義・演習①「フィールドワークまとめ」（7月16日19:00～20:50 2単位時間）

⇒フィールドワーク①において参加者個人が感じた地域の魅力や課題について、感じたことを自由にグループ全員で共有する。

【講師】妙高青少年自然の家職員

◆フィールドワーク②「地域のこし協力隊に密着」（7月17日9:00～11:50 3単位時間）

⇒妙高市で活動している協力隊に密着し、実際に現場を訪れることで、現状を知る。

【講師】塚田 歓太郎さん

◆講義・演習②「仮説を立てよう！」（7月17日13:00～15:50 3単位時間）

⇒フィールドワーク②での検証を踏まえ、参加者が互いの良さを生かしながら多面的・多角的に考察し、グループとして一番良いと思う解決策を思索し、発表①（グループ発表）の準備を行う。

【講師】妙高青少年自然の家職員

◆発表①（グループ発表）（7月17日16:00～16:50 1単位時間）

⇒講義・演習③の成果として、より有効な活動（解決策）とその根拠についてグループ発表を行う。

【講師】妙高青少年自然の家職員

◇自宅課題：オリエンテーション合宿で学んだことを踏まえ、参加者個人が地元地域で実施するために課題を見出したり行動計画（仮説を含む）を考えたりする。

◆講義・演習③「行動計画の基礎」（7月31日10:00～11:50 13:00～13:50 3単位時間）

⇒各自が考えてきた地元地域の課題や行動計画（仮説を含む）をグループ内で共有し、仮説や行動計画を実践に向けて意見交流を行う。発表②（個人発表）の準備を行う。

【講師】妙高青少年自然の家職員

◆発表②（個人発表）（7月31日14:00～14:50 1単位時間）

⇒参加者が個人発表（振り返り、今後の実践発表の展望）を行い、全体に共有する。

【講師】妙高青少年自然の家職員

◆実践活動のためのガイダンス（閉会式含む）（7月31日15:00～15:50 1単位時間）

⇒実践活動を実施する上での安全管理や社会のルール、マナーを理解する。

【講師】妙高青少年自然の家職員

## 13 フィールドワーク概要

### ○信濃町で遊び場づくり

【講師：小西 隆文さん（NPO 法人リブランド代表）】

プロスノーボーダーの小西隆文さんが、信濃町に移住してスケートボードやボルタリングなどの活動ができる場所を作り、地元の方々に遊び場として利用してもらっている。また、小学生が放課後に利用できる学童クラブとしての活用を目指している。リブランドの施設を訪問し、小西さんの思いに触れ、その場所でどんなことができるのかを一緒に体験する。

### ○ぶどう栽培で地域活性化

【講師：塚田 歓太郎さん（妙高市地域のこし協力隊）】

坂口新田地区でぶどう栽培活動を行っているため、その作業を一緒に体験する。夏季のぶどうの

様子や作業、地域の景観など様々なことを通じて、今後のさらなる地域活性化について仮説を考える材料とする。

#### 14 審査会等日程

- (1) 実践活動及び報告書作成（オリエンテーション合宿参加者のうち、希望者）  
令和4年8月～11月 報告書提出締切11月30日（火）
- (2) 地方ステージ  
令和5年1月21日（土）～22日（日）（会場は国立赤城青少年交流の家）
- (3) 全国ステージ  
令和5年2月12日（日）（会場は国立オリンピック記念青少年総合センター）

#### 15 感染症対策について

- 感染症対策として、宿泊する部屋については一人一部屋の配室とする。
- 事前の健康チェックシートへの記録や当日の体温計測など、感染症対策を徹底して活動を行う。
- オリエンテーション合宿中は、マスクの常時着用をお願いする。

#### 16 その他

お問合せ、ご不明な点については下記担当までご連絡願います。

**【本件に関する問い合わせ】**

独立行政法人国立青少年教育振興機構 国立妙高青少年自然の家

〒949-2235 新潟県妙高市大字関山 6323-2

電話：0255-82-4321 F A X：0255-82-4325

メールアドレス：myoko-sen@niye.go.jp 担当：柏川・東條